

## Akiko Takemura



—私の周りからも、丸栄スカイル(名古屋)屋台米の古いコーナーの話がよく出てきます。

**竹村** それが、古い玉手箱なんですよ。すごいんですよ。お休みを外しても、長い

列ができますから。常設コーナーといえは、セントラルパークに一番早くつくりました。

何年ですか。

**竹村** 55年ですかね。全国初の常設コーナーという事で評判を集め、東京・大阪・神戸からも随分見学にこられました。古いの新しい姿を示したものと、起爆剤になったといえますね。常設コーナーもアチコチにつくりましたから、取材にこられると、結局古い玉手箱につながってしまう(笑)。

—最近のヒットは、'88年のぎふ中部未来博の「世界古い館」。

**竹村** 出展者は、十六銀行さんですが、企画からプロデュースまで私の方。今までの集積体のつもりで、ぶつけてみたんですよ。女性やお子さんにとつとこられ、待ち時間が繰出、予想以上にぎわいましたね。友達を誘い合ってゲームを楽しんでいるみたいですね。

**竹村** イベントや常設コーナーはもうすぐが、事務所に鑑定にこられる方ならば、自分自身でじっくり考えられた後「頼る気持」でなく、決断するための情報としてとらえてみえますね。

## ◆仙人に感化されて

—竹村さんの信念が古いに反映されているみたいですね。

**竹村** 陽気に、プラス思考が基本ですから。

古いには、小さい頃から、人一倍興味があったんですよ。

**竹村** 小学校2年生の時に、自宅にあった姓名判断の本を、何度も何度も読み返しているうちに、全部覚えちゃいました(笑)。

得意になって、友達や先生を占ったり(笑)。それが、結構身についたんですよ。

—子供時代に受けた事は、なかなか忘れませんし。

**竹村** しばらく途切れたんですが、ちょうど中学2年生になり、私どもの家に仙人がやってきました、住みついたわけですよ。

—仙人ですか。

**竹村** ええ。熊本の山奥へ修業を積んだらしく、白装束に白いひげをはやし、つえをついてきました。学校から帰るとすぐに、仙人が来ては、易学、命富学から、人相・手相などを教えてもらいました。面白くて、夜中の2時まではざらして、面白く、学校を出られてから、しばらく銀行へ勤められましたね。

**竹村** 3年半のOL生活を送り、結婚しましたが、ある日突然何かがなくて、古いの世界へ。

—ナビユーンが、どんな具合でしたか。  
**竹村** 古い師としてやって行けるし、自信を数カ月かけてキチッとおさらいし、自らに深めてから行動を開始。資金は、わずか1800円。無から有を生む発想です(笑)。

—街頭へ出る時か。

**竹村** それは、古くからの業界のパターンでしょうが、私は、全く違います。これからは、イベントの時代がくると考え、会社の販売促進部を認め、イベントの中に古いコーナーを設ける提案をしたんですよ。お客さまに喜んでいただけるような市場をつくりましょう。

—皆さん、ビックリされたでしょうね。

**竹村** なにしろ12年前ですから、非常に珍しがられましたね。これは行けるぞと、早速、イベントに取り上げるところも、最初は、販促部の方から個人鑑定を依頼されたが職場・家族・親戚へ広がり、そのうちイベントでのお客さまも増え、電話が